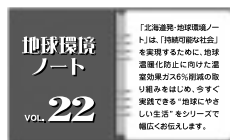


シリーズ22回目のテーマは《生物多様性って?》



エコロジ村のエコリス君が
いまいばん気になっているのは
「生物多様性」という言葉です。
どう意味なのか
仲間と一緒に、調べてみることに。
今回は、その様子をお伝えします。



HOKKAIDO! ECO
地球の「いのち」と向き合い、「いば」に気付いて、「いば」から思いやりのある行動を
地球上にやさしい・エコプロジェクト

生物多様性って なあに?

エコロジ村には
いろんな生きものが
すんでいるよ
村長さんによると
「生物多様性」というんだって
これって
どういう意味なのかな?

-1- いろんな生きものが存在する ことそれが「生物多様性」さ



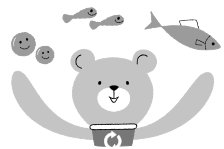
この地球上には、わたしたち人間だけ
ではなく、動物や植物などいろいろな種
類の生きものが一緒に暮らしています。
たとえば、公園の草花や、そこに集まる虫、
そしてその虫を食べる鳥たち。このように、
たくさんの生きものがつながりあって生
きていることを「生物多様性」といいます。
人間も生物多様性の一員で、その恵み
に支えられて生きています。

-2- ニヤンと! 日本の生きものの 3割が絶滅の危機に!



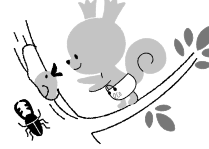
地球上に生きている生物は40億年、
生きものは誕生と絶滅を繰り返して
きました。現在の絶滅スピードは過去
最速といわれ、15分に1種の割合で生
きものがいなくなっているという説も。
地球上で確認されている生きものの約
175万種のうち、絶滅のおそれがあるの
は約1割。日本では約3割の野生動物
が絶滅の危機にひんしています。

-3- エコロジ村も命の循環を 大切にしくちやネ



日本の生きものを脅かしている原因は、
開発や里山の手入れ不足、外来生物の
持ち込み、地球温暖化など、多くは人間
によるものと考えられています。生きもの
のたちのつながりのなかで、一部が絶滅す
ると、生態系はバランスを失い、ほかの生
きものは生きていけなくなります。わた
したち人間が、生物多様性を守っていく
ことが大切です。

-4- どんな生きものがいるのか 身近な自然を観察してみよう



生物多様性を守るためには、身近な
自然や生きものに目を向けることが第
一歩。自然とふれあうエコツアーに出
掛けたり、身近な生きものを観察して
みませんか。環境省生物多様性センター
では、生きものをみつけて報告しあうウ
ェブサイト「いきものみつけ」を運営してい
ます。ぜひアクセスしてみてください。
<http://www.mikke.jp>



生物多様性を 守るために

わたしの仲間シマフクロウも
絶滅危惧種なんじゃ

村長さんの
知恵袋



シマフクロウ

シマフクロウが
安心して暮らせる
北海道へ

シマフクロウは体長約
70cm、羽を広げると2
近くある世界最大のフク
ロウです。日本では北海道
の東部や中部に生息川
や湖の近くの大きな木をす
みかたにマスのなどの魚やカ
ル、ネズミなどを食べて生
きています。シマフクロウは
というところは、それだけ生
態系が豊かということなの
です。

ところが、森が切り開か
れて、大きな木が減ったた
めに、シマフクロウは10羽ほ
どにまで減少。日本でも最も
絶滅が心配される鳥の1つ
になってしまいました。

シマフクロウの絶滅を防
ぐために、木に巣箱をかけ
たり、倒したシマフクロウ
を保護して野生に戻すな
どの取り組み環境省によ
うに行われています。道路
市動物園にはシマフクロウ
を増やすために、世界で初
めて飼育下での繁殖を成功
させています。

道内ではシマフクロウのほ
か、ウミガラスやシショ
ウなど、絶滅が危惧さ
される鳥の保護活動が展
開されています。

※参考資料:環境省自然環境生物多様性センターウェブサイトほか